

タチカワレポート

第65期 期末報告

平成22年 1 月 1 日

平成22年 12月 31日



家庭に、企業に、都市の中に。
次代の生活文化を創造する、様々な事業を展開。
インテリア産業の一翼を担う企業として、
これからも時代を先駆ける活動を展開してまいります。

代表取締役社長 立川光威

株主の皆様には、平素は格別のご支援ご愛顧を賜り誠にありがたく厚く御礼申し上げます。

さて、当社は平成22年12月31日をもって第65期が終了致しましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。

当該期間におきましては、厳しい事業環境の中、積極的な営業活動や新製品の投入とコスト低減により増収・増益を計上することができました。

今後とも株主の皆様の一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成23年 3月

経営の基本方針

当社グループは、ブラインド類・間仕切類を事業の核とするインテリアメーカーとして、また、長年培ってきた歯車技術を活かした機械式立体駐車装置、減速機メーカーとして今日に至っております。

その時代の要請に応え、お客様の信頼を得ることを第一に、国内外の多様な要望に応えることのできる製品の研究開発・生産の充実と高品質なサービスの提供により、生活環境の改善を図り、皆様の期待に応えることを経営の基本方針としております。

CONTENTS

経営者から皆様へ	1
営業の概況	2
セグメント別概況	3
当社グループの事業展開	4
製品のご紹介	5
New Products	7
Topics	9
ショールームのご案内	10
連結・単体財務諸表(要旨)	11
会社の概要	13
株式情報	14
株式についてのご案内	

営業の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、各種景気刺激策による一部の企業収益が回復傾向であるものの、景気低迷から脱しきれず、円高進行による輸出関連企業の業績不振が続き、雇用や所得環境は依然厳しく先行き不透明な状況で推移しました。

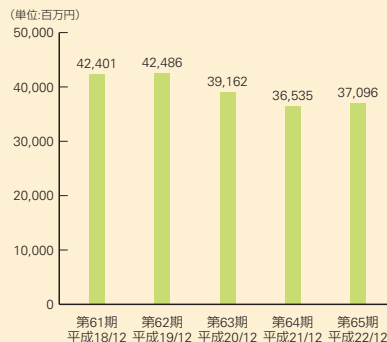
当社グループ関連の住宅・建設業界においては、一戸建着工戸数に回復の兆しがあるものの、ビル着工は低水準のまま推移するなど厳しい状況が続きました。

このような環境の下、室内外装品事業においては、積極的な営業活動や新製品の投入により、売上向上を目指すとともに、コスト低減活動などによる収益改善にも取り組んでまいりました。また、駐車場装置事業においては、主力のパズルタワーの販促活動を重点的に行い、安定した受注と収益の確保に努めてまいりました。減速機事業においては、特殊減速機の設計と生産を迅速に進め、「お客様の理想をカタチに」をコンセプトに差別化した製品開発を行い、収益体質への事業構造改革を進めてまいりました。

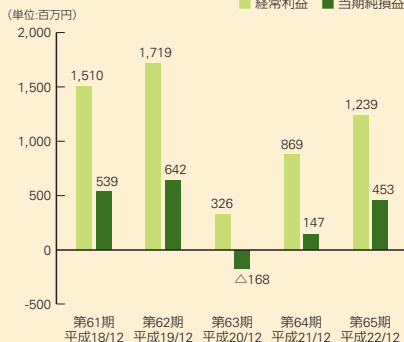
この結果、当連結会計年度における売上高は37,096百万円（前期比1.5%増）、営業利益は1,170百万円（前期比42.9%増）、経常利益は1,239百万円（前期比42.4%増）、当期純利益は453百万円（前期比208.7%増）となりました。

■ 財務ハイライト

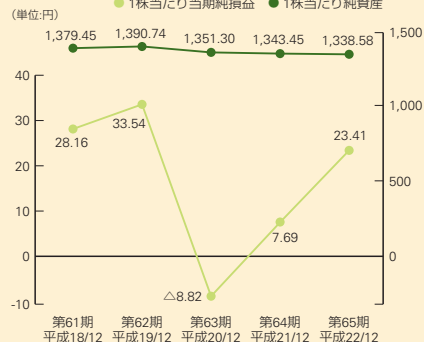
売上高



経常利益・当期純損益



1株当たり当期純損益・1株当たり純資産



業績の見通し

今後の見通しとしては、企業収益が改善に向かうなど景気回復が期待される一方で、依然として雇用情勢は厳しいなど、先行き不透明な状況が続くものと思われます。

当社グループといたしましては、引き続き魅力的な製品の開発による需要創造とおお客様の視点に立ったマーケティングの遂行に加え、消費の多様化に対応できる迅速で柔軟な組織を目指し、競争力の強化に努めてまいります。

期末配当金について

株主の皆様の期待に添うため、安定配当を維持していくとともに内部留保を充実させ企業体質の強化ならびに将来の事業展開に備える方針であります。

当期の期末配当金は、安定配当の基本方針に沿って、1株につき5円（年間10円）とさせていただきます。

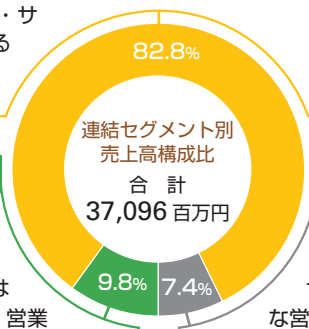
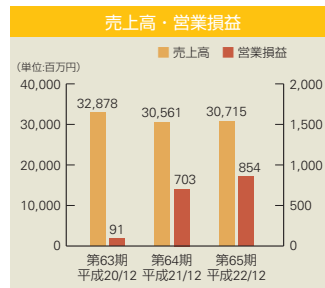
セグメント別概況

室内外装品関連事業 30,715百万円

先行き不透明な事業環境が続く中、効果的な営業活動や新製品の投入により売上向上に努め、新商品発表会を春・秋2回開催し、和シリーズを中心とした新作生地や熟を遮るレース生地などを追加したブリーツスクリーン「ベルレ」、調光機能のあるファブリック製品「ロールスクリーン デュオレ」や新型装飾レールによりラインナップを充実させた「カーテンレール」等の新製品を訴求するとともに、エコをキーワードとした窓まわりの提案を行うなど環境に配慮した取り組みにも努めてまいりました。

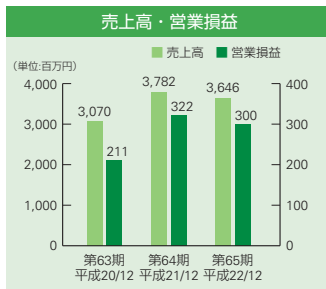
また、地域に密着したサービスの向上のため、東京・横浜エリアに新たな営業拠点を開設し、業務の充実に努めてまいりました。

以上により、売上高は30,715百万円（前期比0.5%増）、営業利益は継続的な原価低減活動やカタログ・サンプル帳の効率的製作などの経費抑制等による収益改善に努めた結果、854百万円（前期比21.5%増）となりました。



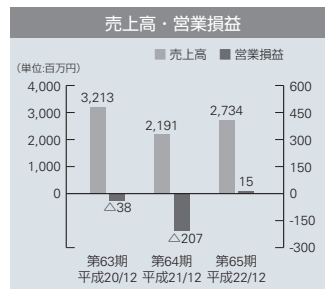
駐車場装置関連事業 3,646百万円

厳しい受注環境の中、保守ならびに改造・改修工事は計画を上回りましたが、新規物件の受注が減少したことにより、売上高は3,646百万円（前期比3.6%減）となりました。営業利益は、継続的な原価低減に努めましたが売上高の減少により300百万円（前期比7.0%減）となりました。



減速機関連事業 2,734百万円

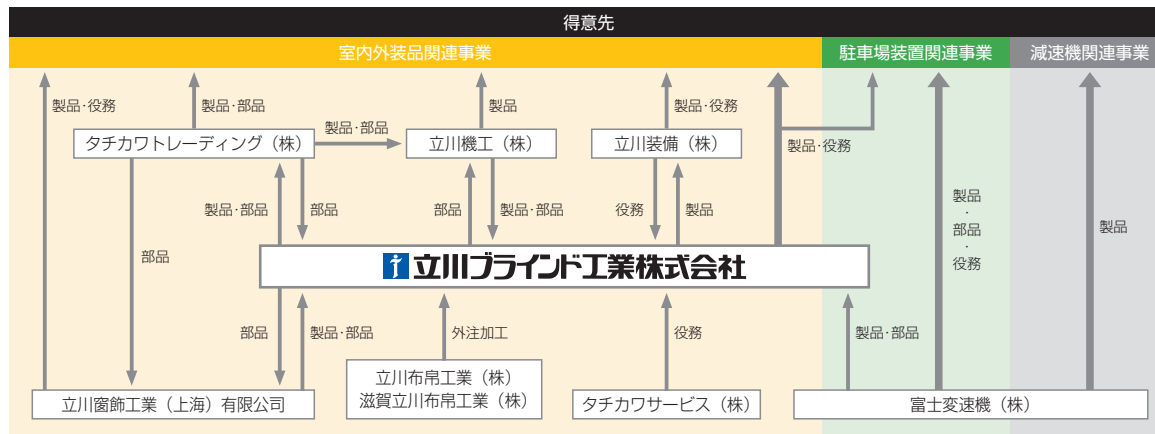
依然として厳しい事業環境ではありましたが、産業機械向け展示会への出展や、ユーザーの用途に合わせた特殊減速機を中心に積極的な営業活動を展開したことにより、売上高は2,734百万円（前期比24.8%増）となりました。営業利益は、売上高の増加に加えVE活動による生産性の向上と原価低減に努めた結果、15百万円（前期は207百万円の損失）となりました。



当社グループの事業展開

当社グループ（連結会社）は、当社および子会社8社で構成され、室内外装関連製品、機械式立体駐車装置等の製造販売およびそれらの設計施工を主な内容とし、さらに各事業に関連するサービス等の事業活動を展開しております。

■ 事業の系統図



(注) 富士変速機(株)は名古屋証券取引所に上場しております。

■ 主なグループ会社

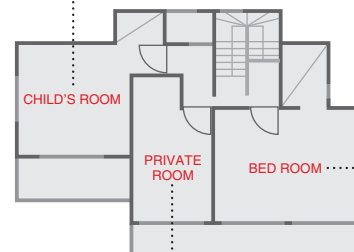
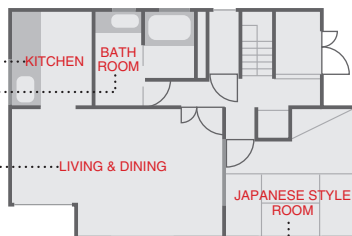
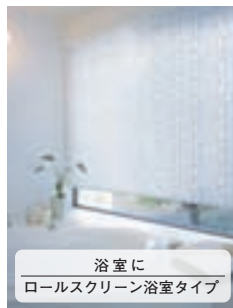
立川機工株式会社	立川装備株式会社	富士変速機株式会社
本社所在地：千葉県山武市	本社所在地：東京都渋谷区	本社所在地：岐阜県岐阜市
資本金：3億円	資本金：3億円	資本金：25億750万円
事業内容：ブラインド、間仕切等の部品 およびカーテンレールの製造販売	事業内容：ブラインド、間仕切等の据付 および関連製品の販売	事業内容：変速機、減速機、立体駐車装置 および間仕切の製造販売

■ 事業展開の課題

- ブラインド群等の主力製品の強化と継続的な新製品開発に傾注する。
- ホームユース市場における製品の拡充と市場浸透を図る。
- カーテンレール事業に関して、全般的なクオリティーの向上を推進する。
- 機械式立体駐車装置の製造・販売に加え、メンテナンス事業を強化する。
- コスト低減活動を推進し、工場等の体質革新を行い収益向上を図る。
- 製品の品質、安全性はもとより、多様化するニーズや高齢化社会への対応、環境への配慮など、継続的顧客満足を追求する。
- グループ全体の経営資源の効果的な投下と経営の迅速化を図る。

人と光のあいだに優しい快適を

タチカワブラインドでは、
豊富なバリエーションを取り揃え、
快適な環境づくりにお応えします。



メーカーとしての原点を忘れることなく、 真摯な「モノづくり」で信頼と実績を明日へつなげます。

私たちの事業は、オーダーメイド。

多彩なアイテム、自由なスタイル、最適なタイミングで、ひとつひとついねいにお届けしています。

お客様のニーズによりきめ細かくお応えするために、モノづくりの原点といえるスタイルを貫いています。

そして、よりよい品質の製品づくりを目指して、日々、素材、機能、デザインの追求に力を注いでいます。

製品そのものが、さまざまな空間に高い省エネ効果をもたらすのはもちろんのこと、

製品をつくる工程でも環境負荷を低減する活動を展開しています。

また、原料選びにおいても、できる限り環境負荷の少ない素材を厳選しています。

モノづくりの原点を大切にする心と、人と環境に優しい上質な製品を創造する技術をもって――。

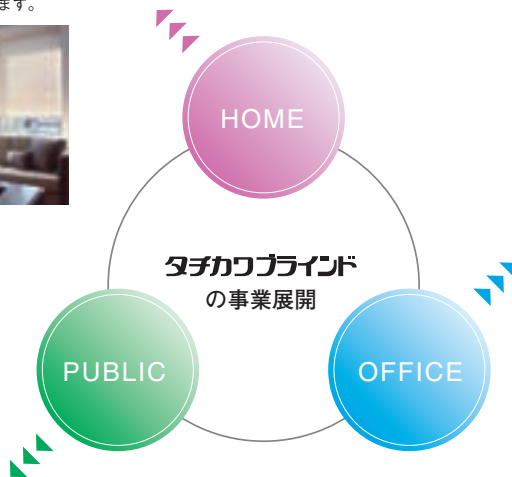
「業界初を生み出していく」私たちの挑戦は、これからもずっと続いていきます。

光を演出する、 お部屋をコーディネートする。

本当にリラックスでき、快適さを実感できる空間とはなにか……。

私たちは、性能、素材、色彩など、さまざまな視点から

その本質をつねに追求しています。



高度化するビジネス空間を、 もっと快適に。

オフィスで働く人たちが
仕事に専念できる環境をつくるために。
優れた操作性や省エネ効果の高い
ブラインドなどを取り揃え、あらゆる
快適空間づくりの提案を行っています。

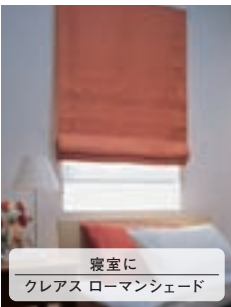


公共施設にふさわしい 快適性を追求。

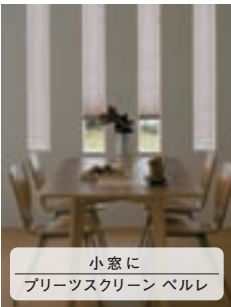
タチカワブラインドは、今までに
庁舎、ホテル、学校、病院、
スポーツ施設など、都市のシンボルとなる
建築物をはじめとしたさまざまな
公共施設に納入した確かな実績を誇ります。



子供部屋に
センチメントブラインドアフタービート



寝室に
クリアス ローマンシェード



小窓に
ブリーツスクリーン ベルレ

H22下期に発表した新製品をご紹介します。

ロールスクリーン「デュオレ」 10月発売

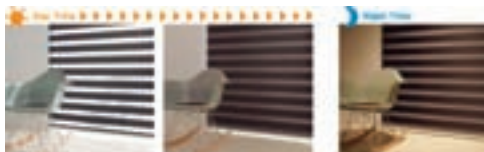
朝・昼・夜、光を自在に操る新発想ロールスクリーン



※表紙の写真の生地は、「クエンテ（アイボリー）」を使用しています。



携帯電話から「デュオレ」の動画がご覧になります。



ドレープ（厚手生地）とレース（薄手生地）を交互に配した2枚の生地が上下にスライドすることで、生地を降ろしたままでもブラインドのように自在に光の量を調節できる製品です。わずかなチェーン操作で、昼間はレース部分から光を採り込み、日差しや視線を遮りたい時はドレープを全閉にして光を遮り、プライバシーを守ります。

生地は、3柄14アイテムをベースに2枚の生地を同色で組み合わせたシンプルなスタイルと、2枚の生地を異なる色で組み合わせる窓辺を個性的に彩る「デュオスタイル」をラインナップしました。



10月より開催された「秋の新商品発表会」では、全国8都市で展示を行い、大好評を得ました。

新カーテンレール 10月発売

カーテンレールのラインナップが大幅にリニューアル



さまざまなインテリアスタイルにお応えする装飾レールに、モダン、クラシック、ナチュラルと住空間スタイルにあわせて選べる11機種のラインナップを大幅に拡充。カーテンとのトータルコーディネートが可能なラインナップです。

また、カーテンアクセサリーを大幅にリニューアルし、素敵な窓辺を演出する重要なアイテムである房掛（11種類）とタッセル（20種類）を発売しました。

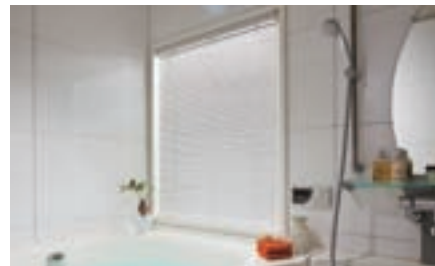


シルキーサートアクア 11月発売

キッチンやバスルームなど水まわりにおすすめ

1本のチェーンでブラインドの昇降・スラットの開閉ができ、細部にもこだわったデザインを採用している「シルキーサート」に、耐水性に優れた新タイプ「シルキーサート アクア」を新発売。

木枠などにネジで取付ける標準タイプと、ネジを使えない場所にテンションで突っ張るノンビスタイプの2種類で展開し、浴室やキッチンなど水まわりの空間におすすめです。



『エコプロモーション』で環境活動に協賛

7月12日～12月31日の期間、省エネ効果の高いブランド「シルキー」の遮熱コートスラットなど当社エコ製品を含めた9製品について、売上の一部をPresent Tree（※）を通じ、寄付することで植林活動に協賛しました。

今回、10月に植林を終えた以下2ヶ所の植栽地より証明書を頂きました。

- 北海道雨竜郡幌加内町 アカエゾマツ
- 宮崎県西諸県郡高原町 広葉樹

※Present Tree：NPO法人環境リレーションズ研究所が主催する、市民参加型の植林プロジェクト



タチカワ
銀座スペース

Atte イベント開催情報

当社のデザイン・文化・芸術活動支援の一環として、これらに携わる方々の研究・作品等を情報発信する多目的スペースとしてご活用いただく事を目的に、平成21年5月にタチカワ銀座ショールーム地下1階にAtte（オッテ）を開設しました。

H22.7～12 開催した主なイベント

- ・銀座第26回 能楽金春祭りに伴う「能楽講座」開催
- ・TOY工房どんぐり「見て 触れて 遊べる 手作り布おもちゃ」展
- ・「Bokunchi!4」江副良介写真展
- ・世界の街の写真展「街のひろばー交わる、集う、憩う、安らぐー」
- ・市村逸子写真展 & 3D world「poisn」



ショールームのご案内

G I N Z A

銀座

タチカワショールーム

タチカワ銀座ショールームでは、お客様にご満足頂けるよう、豊富なインテリアの知識をもったスタッフが、新製品の紹介をはじめ新しいコーディネート提案など、窓辺に限らずインテリアのいろいろな可能性をお伝えしています。
ご相談の予約は下記で承っておりますので、お気軽にお電話下さい。

〒104-0061 東京都中央区銀座8-8-15 青柳ビル

TEL (03) 3571-1373

営業時間 10:00~18:00

定休日 日曜・月曜・祝祭日

JR・銀座線新橋駅より徒歩5分 銀座4丁目交差点より徒歩8分



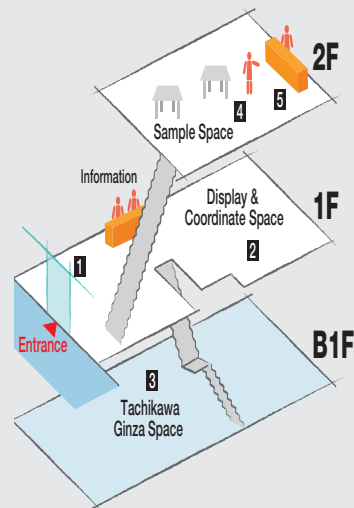
ショールーム一覧

仙台ショールーム	宮城県仙台市青葉区宮町5-1-12 TEL (022) 275-1311 定休日 土曜・日曜・祝祭日 営業時間 10:00~17:00
名古屋ショールーム	愛知県名古屋市西区児玉3-4-4 3F TEL (052) 532-5085 定休日 日曜・祝祭日 営業時間 10:00~17:00
金沢ショールーム	石川県金沢市東力4-181 TEL (076) 291-1146 定休日 土曜・日曜・祝祭日 営業時間 10:00~18:00

大阪ショールーム	大阪府大阪市北区中津2-3-5 2F TEL (06) 6374-1813 定休日 土曜・日曜・祝祭日 営業時間 10:00~17:30
----------	--

高松ショールーム	香川県高松市木太町六区2662-1 TEL (087) 837-2720 定休日 土曜・日曜・祝祭日 営業時間 10:00~17:00
----------	---

信越ディスプレイスペース (展示品に制限があります)	新潟県新潟市東区大形本町1-2-23 TEL (025) 270-8111 定休日 土曜・日曜・祝祭日 営業時間 10:00~17:00
-------------------------------	--



Display
ディスプレイ

Consulting
コンサルティング

Simulation
シミュレーション



製品や生地の実物サンプルを豊富にご用意しています。また、テストングウィンドウでは製品に太陽光を通したときの印象をシミュレーション頂けます。

連結財務諸表（要旨）

■ 総資産

流動資産は25,643百万円で、前連結会計年度末と比較し1,020百万円の増加。主に、未成工事支出金が減少した一方で、現金及び預金、売掛債権が増加したことによるものです。

固定資産は17,478百万円で、前連結会計年度末と比較し280百万円の減少。一部設備投資がありました。主に、減価償却等により有形固定資産が減少したことによるものです。

■ 負債

負債は12,997百万円で、前連結会計年度末と比較し365百万円の増加。主に、短期借入金の返済があった一方で、未払金、未払法人税等の増加があったことによるものです。

■ 純資産

純資産は30,123百万円で、前連結会計年度末と比較し374百万円の増加。主に、保有株式に対するその他有価証券評価差額金が減少した一方で、当期純利益の増加や第三者割当による自己株式の処分により自己株式が減少したことによるものです。なお、自己資本比率は60.4%と、前連結会計年度末と比較し0.2ポイントの減少。

■ キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物の期末残高は、7,208百万円で、前連結会計年度末と比較し460百万円増加。

【営業活動】

967百万円の増加。税金等調整前当期純利益1,209百万円に対し、売上債権の増加額2,137百万円等による減少があった一方で、たな卸資産の減少額1,056百万円、減価償却費744百万円等による増加があったことによるものです。

【投資活動】

303百万円の減少。道路改修に伴う土地収用等による収入107百万円等があった一方で、信越支店建設や生産金型等の取得による支出386百万円、投資有価証券の取得による支出154百万円等があったことによるものです。

【財務活動】

188百万円の減少。自己株式の処分による収入153百万円があった一方で、配当金の支払236百万円および短期借入金の返済96百万円の減少があったことによるものです。

連結貸借対照表

(単位：千円) (単位：百万円)

科目	当期	前期	増減(△)
	平成22年12月31日現在	平成21年12月31日現在	
資産の部			
流動資産	25,643,066	24,622,209	1,020
固定資産	17,478,080	17,758,934	△ 280
資産合計	43,121,147	42,381,143	740
負債の部			
流動負債	8,956,622	8,701,307	255
固定負債	4,041,369	3,931,301	110
負債合計	12,997,991	12,632,608	365
純資産の部			
株主資本	26,163,287	25,749,102	414
資本金	4,475,000	4,475,000	—
資本剰余金	4,395,000	4,395,017	△ 0
利益剰余金	17,959,158	17,717,516	241
自己株式	△ 665,870	△ 838,431	172
評価・換算差額等	△ 109,506	△ 52,830	△ 56
少数株主持分	4,069,374	4,052,263	17
純資産合計	30,123,155	29,748,535	374
負債・純資産合計	43,121,147	42,381,143	740

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当期	前期
	平成22年1月1日から平成22年12月31日まで	平成21年1月1日から平成21年12月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	967,212	2,013,477
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 303,528	△ 1,499,163
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 188,286	△ 238,702
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 15,225	3,616
現金及び現金同等物の増加額(△減少額)	460,173	279,227
現金及び現金同等物の期首残高	6,748,378	6,469,150
現金及び現金同等物の期末残高	7,208,551	6,748,378

連結株主資本等変動計算書

当期	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成22年1月1日から平成22年12月31日まで					
平成21年12月31日残高	4,475,000	4,395,017	17,717,516	△ 838,431	25,749,102
連結会計年度中の変動額					
剰余金の配当			△ 192,955		△ 192,955
当期純利益			453,898		453,898
自己株式の取得				△ 138	△ 138
自己株式の処分		△ 17	△ 19,302	172,699	153,380
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)					
連結会計年度中の変動額合計	—	△ 17	241,641	172,560	414,185
平成22年12月31日残高	4,475,000	4,395,000	17,959,158	△ 665,870	26,163,287

単体財務諸表（要旨）

連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当期	前期
	平成22年 1月 1日から 平成22年12月31日まで	平成21年 1月 1日から 平成21年12月31日まで
売上高	37,096,779	36,535,655
(前期比)	(1.5%)	(△ 6.7%)
売上原価	22,107,005	21,887,946
売上総利益	14,989,773	14,647,708
販売費及び一般管理費	13,819,317	13,828,640
営業利益	1,170,456	819,068
(前期比)	(42.9%)	(210.2%)
営業外収益	207,673	171,180
営業外費用	139,061	120,274
経常利益	1,239,068	869,973
特別利益	69,845	21,418
特別損失	99,336	246,336
税金等調整前当期純利益	1,209,576	645,055
法人税、住民税及び事業税	847,222	485,836
法人税等調整額	△ 156,208	△ 30,451
少数株主利益	64,664	42,618
当期純利益	453,898	147,053

セグメント情報

(単位：千円)

当期	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業
平成22年 1月 1日から 平成22年12月31日まで			
売上高	30,715,512	3,646,615	2,734,651
(前期比)	(0.5%)	(△ 3.6%)	(24.8%)
営業利益	854,627	300,383	15,445
(前期比)	(21.5%)	(△ 7.0%)	(前期207百万円損失)

(単位：千円)

評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
△ 33,075	930	△ 20,684	△ 52,830	4,052,263	29,748,535
					△ 192,955
					453,898
					△ 138
					153,380
△ 40,422	△ 2,597	△ 13,655	△ 56,675	17,111	△ 39,564
△ 40,422	△ 2,597	△ 13,655	△ 56,675	17,111	374,620
△ 73,498	△ 1,667	△ 34,340	△ 109,506	4,069,374	30,123,155

貸借対照表

(単位：千円)

科目	当期	前期
	平成22年12月31日現在	平成21年12月31日現在
資産の部		
流動資産	16,468,730	15,577,111
固定資産	14,810,063	14,631,491
資産合計	31,278,793	30,208,603
負債の部		
流動負債	7,459,444	6,715,886
固定負債	3,550,015	3,471,836
負債合計	11,009,459	10,187,722
純資産の部		
株主資本	20,318,979	20,033,122
資本金	4,475,000	4,475,000
資本剰余金	4,395,000	4,395,017
利益剰余金	12,114,849	12,001,537
自己株式	△ 665,870	△ 838,431
評価・換算差額等	△ 49,644	△ 12,242
純資産合計	20,269,334	20,020,880
負債・純資産合計	31,278,793	30,208,603

損益計算書

(単位：千円)

科目	当期	前期
	平成22年 1月 1日から 平成22年12月31日まで	平成21年 1月 1日から 平成21年12月31日まで
売上高	29,132,176	28,976,681
売上原価	16,915,969	16,844,884
売上総利益	12,216,207	12,131,796
販売費及び一般管理費	11,681,869	11,766,418
営業利益	534,337	365,378
営業外収益	374,406	427,000
営業外費用	205,778	180,568
経常利益	702,965	611,809
特別利益	66,987	5,118
特別損失	39,916	183,706
税引前当期純利益	730,036	433,222
法人税、住民税及び事業税	534,540	249,103
法人税等調整額	△ 130,073	△ 12,820
当期純利益	325,569	196,939

会社の概要

■ 会社の概要

社名	立川ブラインド工業株式会社
英文社名	TACHIKAWA CORPORATION
創業	昭和13年5月
設立	昭和22年10月
資本金	44億7,500万円
国土交通大臣許可	内装仕上工事業（般-22）第5037号 建具工事業（般-22）第5037号 機械器具設置工事業（般-22）第5037号 建築工事業（特-22）第5037号
上場取引所	東京証券取引所 市場第2部
証券コード	7989
本社所在地	東京都港区三田三丁目1番12号
電話番号	(03) 5484-6100（大代表）
ホームページアドレス	http://www.blind.co.jp
従業員数	連結1,172名 単体760名（平成22年12月31日現在） ※パート・契約社員等を除く

■ 営業品目

区分	品目の内容
ブラインド類	ベネシャン（横型）ブラインド、 パーチカル（縦型）ブラインド、 天窗用ブラインド、ロールスクリーン等
間仕切類	アコーデオン式間仕切、パネル式間仕切
その他	カーテンレール、製品取付、その他

■ 連結会社

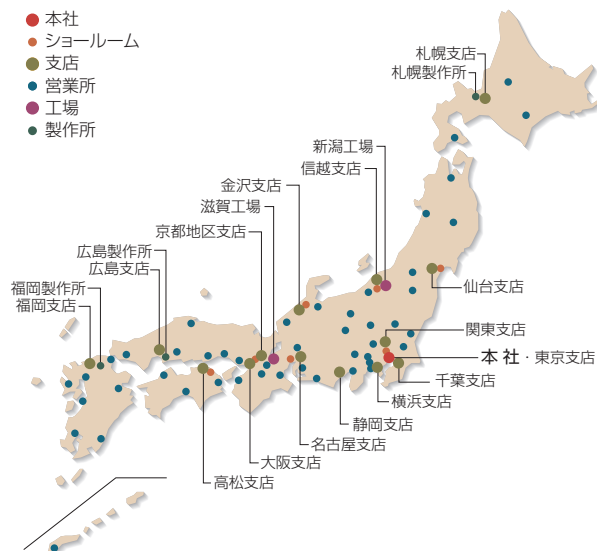
国内	
富士変速機株式会社	タチカワレーディング株式会社
岐阜県岐阜市中洲町18	東京都中央区銀座8-8-15
立川機工株式会社	タチカワサービス株式会社
千葉県山武市松ヶ谷口2687	東京都港区三田3-1-12
立川装備株式会社	
東京都渋谷区代々木2-16-4	
立川布帛工業株式会社	
新潟県五泉市今泉709-1	
海外	
滋賀立川布帛工業株式会社	立川窗飾工業（上海）有限公司
滋賀県愛知郡愛荘町東円堂923-1	上海市嘉定区葉城路1630

■ 取締役および監査役（平成23年3月30日現在）

代表取締役社長	立川 光 威
常務取締役	國米 利 政
取締役	竹中 伸 也
取締役	東澤 章 一
取締役	藤原 義 史
取締役	成瀬 義 弘（新任）
取締役	山本 浩 司（新任）
常勤監査役	河原 隆
※ 監査役	坪井 節 子
※ 監査役	守内 禎 誼

（注）※印の各氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

■ 当社ネットワーク



株式情報

■ 株式の状況 (平成22年12月31日現在)

発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式の総数	20,763,600株
株主数	5,256名

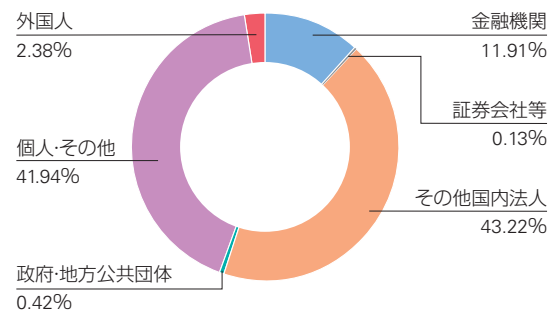
大株主および持株数 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	議決権比率 (%)
有限会社立川恒産	4,117	21.20
タチカワブラインド取引先持株会	2,053	10.58
更生保護法人立川更生保護財団	1,331	6.85
立川 溥	613	3.16
タチカワ社員持株会	556	2.87
株式会社三菱東京UFJ銀行	553	2.85
三菱商事株式会社	470	2.42
株式会社りそな銀行	460	2.37
日本生命保険相互会社	415	2.14
立川 光威	402	2.07

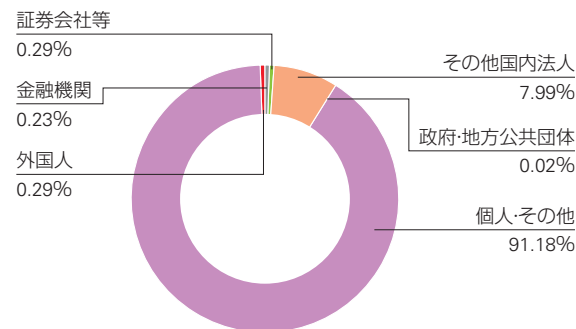
(注) 1. 千株未満は切り捨てて表示しております。

(注) 2. 当社は自己株式1,299千株を保有しておりますが、上記の表には記載しておりません。

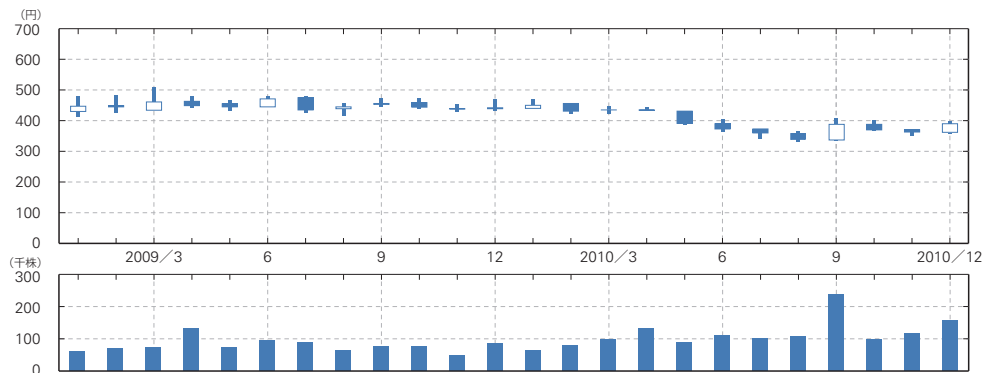
■ 所有者別持株比率



■ 所有者別株主比率



■ 株価および出来高の推移



株式についてのご案内

事業年度	1月1日～12月31日
定時株主総会	毎年3月
定時株主総会基準日	12月31日
剰余金配当基準日	12月31日（期末配当） 6月30日（中間配当）
公告方法	電子公告によります。 公告掲載URL http://www.blind.co.jp/koukoku/ ※事故その他のやむを得ない場合は、 日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 証券代行部
特別口座管理機関	日本証券代行株式会社
単元株式数	100株

当社ホームページでは決算短信などのIR情報や、当社事業や製品・サービスなどさまざまな情報を発信しております。



<http://www.blind.co.jp/>

登録情報（ご住所、配当金振込先など）の変更、その他諸手続きについて

一般口座の株主さまは、お取引口座のある証券会社にてお取扱いしております。
特別口座の株主さまは、特別口座管理機関 日本証券代行（株）へお問い合わせ下さい。

配当金の受取りについて

配当金領収証をお近くのゆうちょ銀行または郵便局へお持ち下さい。
また今後、銀行振込をご希望の方は、お取引口座のある証券会社または特別口座管理機関 日本証券代行（株）へお問い合わせ下さい。

未受領の配当金の受取りについて

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行（株）証券代行部までお問い合わせ下さい。

単元未満株式（100株未満の株式）の買取・買増請求について

一般口座の株主さまは、お取引口座のある証券会社にてお取扱いしております。
特別口座の株主さまは、特別口座管理機関 日本証券代行（株）へお問い合わせ下さい。

特別口座から一般口座への株式振替のお願い

特別口座管理機関 日本証券代行（株）へお問い合わせ下さい。
注）特別口座のままでは市場において株式を売却することはできませんので、必ず証券会社に一般口座を開設（既に開設されている場合不要）し、特別口座から一般口座へ振替申請を行って下さい。

郵便物送付先・お問い合わせ先

株主名簿管理人	特別口座管理機関
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-232-711（フリーダイヤル） ホームページアドレス http://www.tr.mufug.jp/daikou/	〒137-8650 東京都江東区塩浜二丁目8番18号 日本証券代行株式会社 代理人部 ☎ 0120-707-843（フリーダイヤル） ホームページアドレス http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html

 **立川ブラインド工業株式会社**

〒108-8334 東京都港区三田三丁目1番12号 電話(03)5484-6100(大代表)



この報告書は、再生紙と、環境に優しい植物油インキを使用して印刷するとともに、針金を使わず「ECO緩じ」にて製本しています。